

ムエタイ世界タイトルマッチ 一戸総太さんが前人未踏の2階級制覇



①相手のスタイルを崩し、積極的に攻撃を仕掛ける一戸さん(左)

②試合翌日には、一戸さんが新たに獲得したベルトを持って訪問。試合当日、応援に駆けつけた相川町長に、タイトル獲得の喜びを報告しました。

7月12日(日)、「闘魂祭inつがる～東北の雄集結!一戸総太世界タイトルマッチ～」が、プラザマリユウ五所川原で開催され、ムエタイ(タイ式キックボクシング)のWPMF世界スーパーバンタム級王者で、鶴田町出身の一戸さんが、メインイベントで同フェザー級王座決定戦に挑戦。対戦相手のウッティデート・ソーチョーヴィジットペーリュウ選手(タイ)に判定で勝利し、日本人初となる2階級制覇を果たしました。

試合は、序盤から一戸さんがパンチやミドルキックなどで果敢に攻めるが、相手が固いガードで防御。途中、相手の肘打ちによる出血があったものの、会場に集まった1200人の観衆からの応援を背に、気持ちを保ち続け、最終5ラウンドまで戦い勝利しました。

一戸さんは「勝つことができ良かった。応援に来てくれた鶴田の皆さんに自分が戦っている姿を見せることができ嬉しかった。自分の姿が、何か目標を持って頑張っている人たちの刺激になってくれれば」と語ってくれました。

翌13日(月)には、一戸さんが相川町長を表敬訪問し、タイトル獲得の喜びを報告。相川町長は「ベルトを防衛して、また地元で試合をやってほしい」と話していました。

Pick up

児童養護施設に現金と学習用品寄贈 タイガーマスクの心温まる贈り物

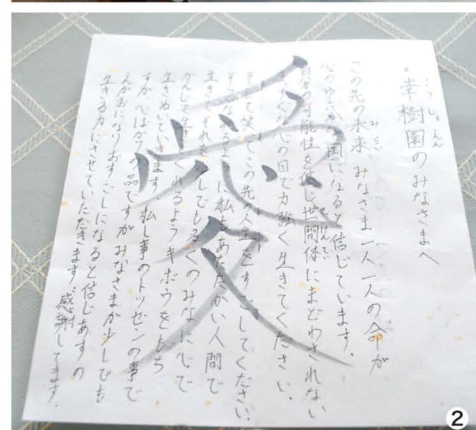
7月17日(金)、児童養護施設「幸樹園」にタイガーマスク「伊達直人」を名乗る男性が現れ、現金20万円とランドセル5個のほか、学習用具やお菓子、おもちゃなどを寄贈しました。

施設の山口俊輔理事長によると、同日の午後2時15分ごろ、マスクを被り、グレーのジャケットを羽織った男性が、20代ほどの男性2人と施設を訪れ、現金が入った袋を山口理事長に手渡し、ランドセルなどの荷物を置いて、多くを語らずに立ち去ったということです。

寄贈品の中には、花火やスイカ、メロンなどもあり、山口理事長は「夏休み中にキャンプがあるので、もしかしたら施設のことをよく知っている人なのかもしれない」と話していました。

同封された手紙には、「自分の可能性を信じ、世間体に惑わされない真っすぐな心の目で力強く生きてください」と施設の子もたちにあてたメッセージが書かれていました。

山口理事長は「本当にありがたいことです。いただいたお金は、子どもたちの社会性を育むために活用したい」と感謝の気持ちを述べていました。



①寄贈された現金とランドセルや学習用具、おもちゃやお菓子などの品々の一部

②添えられた手紙には、大きく「愛」の字とともに、施設の子もたちへのエールが書かれていました。